

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	鈴木 繁浩
評価者	組織		職		氏名	

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	13,252 (R2)	(R3)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性	
					(年度)	(年度)							
施策1	課題1 新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	13,252 (R2)	(R3)	1	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	20,000			
							2	コンベンション誘致推進事業費	観光客全般	40,000			
							3	教育旅行誘致推進事業費	観光客全般	6,300			
	課題2 石川ならではの魅力の発信	首都圏からの入り込み客数	千人	7,000 (R7)	2,164 (R2)	(R3)	1	東日本誘客推進事業費	首都圏観光客	35,740			
							3	3大都市圏からの入り込み客数	千人	13,000 (R7)	4,667 (R2)	(R3)	1
		観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	13,252 (R2)	(R3)	再掲	いしかわ観光コンシェルジュ配置支援事業費	三大都市圏観光客	23,000			
							再掲	戦略的インターネット活用誘客推進事業費	三大都市圏観光客	17,500			
							再掲	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	観光客全般	20,000			
							再掲	東日本誘客推進事業費	観光客全般	35,740			
	課題3 広域連携による県域を越えた周遊観光の促進	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	13,252 (R2)	(R3)	1	県内トップスポーツチーム連携誘客推進事業費	観光客全般	1,000			
2							誘客プロモーション事業費	観光客全般	15,000				
	課題3	観光入り込み客数	千人	30,000 (R7)	13,252 (R2)	(R3)	1	JR連携誘客キャンペーン事業費	観光客全般	11,500			

※人数については暦年の数値である

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ほとと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度 H28	事業終了予定年度	作 組 織 誘客戦略課 成 職・氏名 主任主事 金谷 和樹 者 電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3944
	根拠法令・計画等	ほとと石川観光プラン2016	

<事業の背景及び目的>
 平成28年3月に策定した「ほとと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟がほとと石川観光プラン推進ファンドを活用して実施する北陸新幹線金沢開業効果の持続・発展に向けた国内誘客に向けたプロモーション活動の円滑な実施のため、資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

- <事業の概要>
- 1 貸付額 20,000千円
 - 2 貸付先 (公社)石川県観光連盟

- 【参考】ほとと石川観光プラン推進ファンドを活用した事業内容
- 国内誘客に向けたプロモーション活動
 - (1)観光物産展「いしかわ百万石物語展」の開催
 - (2)大手企業等での出前型観光物産展の開催 など

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	

事業費					
(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	10,000	6,500	8,000	8,000	20,000
一般	0	0	0	0	0
財源	0	0	0	0	0
事業費累計	61,000	67,500	75,500	83,500	103,500

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 コンベンション誘致推進事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		
				作 組 織 誘客戦略課 成 職・氏名 主事 越村 日咲 者 電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3944

<事業の背景及び目的>
 県内で開催されるコンベンションに対して、開催に要する経費の一部を補助し、県外からの誘客を促進する。
 R3年度から、感染症対策の時的措置として支給要件の県外参加者人数の下限を県外参加者50人以上に引き下げるとともに、コロナ対策に係る経費を対象とした新たな補助メニューを追加

<事業の概要>

支給対象	学会、大会、会議 ※展示会、スポーツ大会、コンクール、イベント、コンサートは対象外
支給条件	人数 県外参加者50人以上
	規模 北陸地域（石川県、富山県及び福井県）を超える規模のもの
	会期 連続する2日以上であること ※会期にはコンベンション主催者が計画し、県内において実施する視察旅行を含む
国際コンベンション要件	以下の3つの要件をすべて満たすこと。 ・外国人が20名以上参加すること ・参加者募集を日本国外に対しても行っていること ・開催地が複数国間で交代するものであること。或いは臨時的に1度きりの開催であること。
補助金額	①基本補助（下記別表参照） ②バス補助：バス借上げ費用の1/3（上限100万円） ※県外参加者1,000人以上のコンベンションが対象。 ③加賀能登宿泊追加補助：1,000円/人（上限50万円） ※金沢市を主会場とする県外参加者1,000人以上のコンベンションで、加賀・能登エリアに宿泊する場合。ただし加賀・能登宿泊のためのバス助成を受ける場合は適用不可。 ④感染症予防対策追加補助：補助対象経費の3分の1 上限額：①の基本補助額もしくは30万円のいずれか低い額を上限とする
申請時期	開催日の1ヵ月前

県外参加者数		国内	国際	県外参加者数		国内	国際	県外参加者数		国内	国際
50人	～	99人	4	2,100人	～	2,199人	168	4,100人	～	4,199人	328
100人	～	199人	8	2,200人	～	2,299人	176	4,200人	～	4,299人	336
200人	～	299人	16	2,300人	～	2,399人	184	4,300人	～	4,399人	344
300人	～	399人	24	2,400人	～	2,499人	192	4,400人	～	4,499人	352
400人	～	499人	32	2,500人	～	2,599人	200	4,500人	～	4,599人	360
500人	～	599人	40	2,600人	～	2,699人	208	4,600人	～	4,699人	368
600人	～	699人	48	2,700人	～	2,799人	216	4,700人	～	4,799人	376
700人	～	799人	56	2,800人	～	2,899人	224	4,800人	～	4,899人	384
800人	～	899人	64	2,900人	～	2,999人	232	4,900人	～	4,999人	392
900人	～	999人	72	3,000人	～	3,099人	240	5,000人	以上		400
1,000人	～	1,099人	80	3,100人	～	3,199人	248	(上限)			
1,100人	～	1,199人	88	3,200人	～	3,299人	256				
1,200人	～	1,299人	96	3,300人	～	3,399人	264				
1,300人	～	1,399人	104	3,400人	～	3,499人	272				
1,400人	～	1,499人	112	3,500人	～	3,599人	280				
1,500人	～	1,599人	120	3,600人	～	3,699人	288				
1,600人	～	1,699人	128	3,700人	～	3,799人	296				
1,700人	～	1,799人	136	3,800人	～	3,899人	304				
1,800人	～	1,899人	144	3,900人	～	3,999人	312				
1,900人	～	1,999人	152	4,000人	～	4,099人	320				
2,000人	～	2,099人	160								

施策・課題の状況					
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大				
指標	観光入り込み客数			単位	千人
目標値	現状値				
令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	

事業費						
(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業費	予算	45,644	48,415	56,000	50,000	40,000
	決算	44,833	48,255	38,836	320	
一般	予算	45,644	48,415	56,000	50,000	40,000
財源	決算	44,833	48,255	38,836	320	
事業費累計		44,833	93,088	131,924	132,244	172,244

評価		左記の評価の理由
項目	評価	
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 教育旅行誘致推進事業費	事業開始年度	H15	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組 織	誘客戦略課
	職・氏名	専門員 六田 雄介
	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3943

<事業の背景及び目的>
 北陸新幹線開業を契機に全国的な注目度が高まっている中、将来の石川ファン拡大に繋がる取り組みとして、教育旅行誘致を重点事業の一つに位置付け、戦略的な誘致活動の展開を図る。

- <事業の概要>
- (1) 誘致活動
- ①三大都市圏の学校、旅行会社への直接訪問
 - ②学校、旅行会社の視察等受入
 - ③教育旅行誘致資料の作成(ダイジェスト版の作成)
 - ④北陸三県で連携した誘致活動の実施
(現地研修(3回)、首都圏での旅行会社向け説明会・商談会(1回)等)
 - ⑤関西圏での旅行会社向け説明会・商談会の実施(1回)
- (2) 修学旅行誘致戦略マネージャーの配置
 北陸新幹線を利用する修学旅行の誘致強化に向け、修学旅行に関する専門的な知識や経験を有し、旅行会社や学校等との人的ネットワークを持つ旅行会社OBを東日本誘客推進室に配置
- (3) 受入体制の強化
- ①宿泊施設向け受入研修会の開催(1回)
 - ②首都圏大手旅行会社教育旅行担当者による現地視察会の実施(1回)
 - ③新たな教育旅行向けプログラムの開発(意見交換会の実施等)

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価				
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数	単位			
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	
事業費						
	(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	予算	4,000	7,000	6,000	6,000	6,300
	決算	4,000	7,000	5,460	5,991	
一般	予算	2,000	3,500	3,000	3,000	3,150
	決算	2,000	3,500	2,730	2,995	
財源	決算	2,000	3,500	2,730	2,995	
事業費累計		19,800	26,800	32,260	38,251	44,551
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 東日本誘客推進事業費	事業開始年度 H22	事業終了予定年度	作 組 織 誘客戦略課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016	成 職・氏名 主事 西納 佑菜 者 電話番号 076 - 225 - 1543 内線 3947

<事業の背景及び目的>
 令和6年春の北陸新幹線県内全線開業に向け、JR等と連携したターゲットを絞った個人誘客や交通事業者・大手旅行会社と連携した誘客プロモーションの推進を通じ、更なる潜在需要の掘り起しとリピーター獲得に取り組むことで、首都圏等からの誘客拡大を図る。
 また、新幹線開業により増加する東北地方からの入り込み需要の更なる取り込みのため、JR東日本グループや大手旅行会社等と連携し、本県への旅行を促す具体の取り組みを進めることで、東北からの更なる誘客を図る。

<事業の概要>
【首都圏】
 (1) 大手私鉄グループ等と連携した誘客キャンペーンの推進
 ・電車広告による情報発信、成約特典キャンペーンの実施など
 (東武鉄道(東武トップツアーズ)・東京急行電鉄(東急トラベルサロン))
 ・東京メトロ車内モニターを活用したPR映像の放映
 ・長野県における誘客キャンペーンの実施

(2) JR東日本と連携したターゲットを絞った個人誘客の推進
 ・JR東日本シニア会員誌「大人の休日倶楽部」を活用した魅力発信、旅行商品の造成
 ・JR東日本関連旅行会社(びゅうトラベル)と女性向けWEBサイト「オズモール」が連携した魅力発信、旅行商品の造成

(3) 善光寺御開帳(R4年4月)に合わせた長野県と連携した誘客推進

【東北地方】
 (4) 大手旅行会社・交通事業者と連携した誘客プロモーション
 ・旅行会社での販促キャンペーン
 ・インターネット(旅行記事サイト・SNS等)を活用した情報発信
 ・東北エリアの公共交通機関の広告を利用した情報発信

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	
課題	石川ならではの魅力の発信						
指標	首都圏からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
7,000	4,135	4,182	4,134	2,164			
事業費							
(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
事業費	予算	34,185	37,377	35,500	34,500	35,740	
	決算	34,066	37,315	35,500	0		
一般	予算	26,243	18,689	17,750	17,250	17,870	
財源	決算	26,181	18,658	17,750	0		
事業費累計	156,616	193,931	229,431	229,431	265,171		
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)							
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)							

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 西日本誘客推進事業費	事業開始年度 H26	事業終了予定年度	作 組 織 誘客戦略課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016	成 職・氏名 専門員 寺西 奈々 者 電話番号 076 - 225 - 1544 内線 3953

<事業の背景及び目的>
 北陸新幹線開業により、全国的な注目を受けたことで、関西・中京圏からの入込客数は開業前を上回って推移してきたことから、令和6年春の県内全線開業を見据え、潜在需要喚起に取り組み、誘客拡大を図る必要がある。
 そのため、JRと北陸三県等が連携した通年でのキャンペーンに加え、JRと連携した県内全線開業を見据えた誘客プロモーションを展開するほか、大手私鉄グループ等と連携した誘客プロモーションの推進、マイカー利用者や団体旅行などのターゲットに応じた誘客の推進に取り組む。

- <事業の概要>
- (1) 大手旅行会社と連携した誘客推進
 - ・JR西日本グループ(日本旅行)と連携した誘客推進
 - 店舗等での販促キャンペーンの実施
 - ・大手私鉄グループと連携した誘客推進
 - (連携先: 阪急電鉄、名古屋鉄道、阪神電鉄、近畿日本鉄道)
 - 主要駅構内広告掲載や新たな旅行商品造成

 - (2) 福井県との連携によるマイカー誘客推進
 - ・両県を巡る魅力的なドライブコースを紹介するWebサイトの開設やPRなど
 - ・NEXCOとの連携による高速道路周遊パスの造成支援
 - 周遊パスの利用促進に向けたパンフレット作成などの広報支援
 - ・JAFや大手自動車販売会社との連携による情報発信
 - JAF会員向けHPでのドライブコースの紹介、販売店店頭へのパンフレット配架など

 - (3) イベントを活用した情報発信
 - ・百貨店等における観光物産展「いしかわ百万石物語展」の開催
 - ・石川香川観光パートナーシップ協定に基づく情報発信

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	
課題	石川ならではの魅力の発信						
指標	3大都市圏からの入り込み客数					単位	千人
目標値	現状値						
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	13,000	8,877	8,919	8,793	4,667		
事業費							
(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
事業費 予算	21,000	20,500	28,700	21,800	20,400		
事業費 決算	21,000	20,500	28,683	3,862			
一般 予算	10,500	10,250	14,350	10,900	10,200		
財源 決算	10,500	10,250	14,342	1,931			
事業費累計	42,146	62,646	91,329	95,191	115,591		
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)							
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)							

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわ観光コンシェルジュ配置支援事業費	事業開始年度 R1	事業終了予定年度	作 組 織 誘客戦略課
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016	成 職・氏名 主任主事 室野 美由紀 者 電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3947

<事業の背景及び目的>
 北陸新幹線金沢開業を機に高まった本県への旅行ニーズに対応するため、大手旅行会社と連携し、三大都市圏等の主要店舗の窓口に、本県への旅の魅力を紹介する担当者を「いしかわ観光コンシェルジュ」として配置し、店舗における本県観光情報の恒常的な発信強化と本県への誘客拡大に取り組む。

<事業の概要>

(1) 事業内容

- ・本県観光の積極的な情報発信と、旅行商品販売等による積極的な送客
- ・石川デスク(観光情報コーナー)の設置による通年PR
- ・店頭PRイベントの実施等による販売促進事業の実施
- ・本県視察研修の実施
- ・社内研修の開催(他の販売員への水平展開)
- ・定期的な実績報告と、トレンドを踏まえた本県施策への提言

(2) 実施店舗

- ・首都圏12店舗(R2年度10店舗)、関西圏7店舗(R1年度6店舗)、中京圏5店舗(R2年度3店舗)、東北圏1店舗(R2年度1店舗) 計25店舗(R2年度20店舗)

(3) 配置人数

- ・各店舗1人 計25人

<これまでの見直し状況>

R1年度:11店舗
 R2年度:20店舗

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価
課題	石川ならではの魅力の発信					
指標	3大都市圏からの入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
13,000	8,877	8,919	8,793	4,667		
事業費						
(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業費	予算		6,000	11,000	23,000	
	決算		5,993	16,585		
一般財源	予算		3,000	5,500	11,500	
	決算		2,997	8,292		
事業費累計	0	0	5,993	22,578	45,578	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 戦略的インターネット活用誘客推進事業費	事業開始年度	H30	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		
				作 組 織 誘客戦略課 成 職・氏名 専門員 六田 雄介 者 電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3943

<事業の背景及び目的>
 近年、個人旅行の情報収集や手配はインターネットが主流となる中、インターネット広告を活用して旅行に関心が高い個人にターゲットを絞った情報発信が大変有効であり、また、コロナ禍においては、非接触型のPR手法としてインターネットの重要性が一層高まっている。
 県では、これまでもインターネットを活用した情報発信や誘客に取り組んできたが、本県が誇る歴史、文化、自然等の本物の魅力を直感的に訴求でき、近年、視聴が大幅に増えている“動画”を活用した観光PRが効果的であることから、令和3年度は、従来の取組みに加え、本県がターゲットとしている女子旅やシニア旅、マイカー旅行をテーマとしたPR動画を制作し、インターネット上で発信することで、新たな旅行需要の掘り起こしと誘客の拡大を図る。

<事業の概要>
 インターネットで広告を配信し本県の魅力を伝える特集サイトへ誘導するとともに、特集サイトの閲覧者がそのままインターネット上で本県への旅行を予約できる仕組みを構築することで具体的な誘客促進を図る。

(1) インターネット広告等の配信

- ・大手SNS「Instagram(写真投稿)」、「YouTube(動画)」のユーザーに本県の魅力を訴求する広告を配信
- ・旅行会社のSNS等を活用して、各旅行会社の会員に広告を配信
- ・SNSで強い発信力を持つインフルエンサーを招聘し、本県の魅力を効果的に発信・拡散

(2) 特集サイトによる魅力発信

- ・ターゲットに応じた観光魅力を紹介する特集記事の制作
- ・本県の歴史・文化・食・自然の魅力を直感的に訴求するPR動画の制作
- ・旅行会社予約サイトへのリンク掲載

これまでの見直し状況
 H30: 東日本誘客促進事業においてインターネット広告を活用した観光PRを実施
 R1: ターゲットエリアを首都圏から三大都市圏に拡大、
 大手旅行予約サイト連携誘客促進事業を統合し、連携する大手旅行予約サイトを楽天トラベルを含む7社に拡大
 R3: テーマ別(女子旅、シニア旅、マイカー旅行)に特集サイト・PR動画を制作

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	
課題	石川ならではの魅力の発信					
	指標	3大都市圏からの入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	13,000	8,877	8,919	8,793	4,667	

事業費						
	(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	予算		12,000	11,000	8,800	17,500
	決算		12,000	11,000	0	
一般財源	予算		6,000	5,500	4,400	8,750
	決算		6,000	5,500	0	
事業費累計		0	12,000	23,000	23,000	40,500

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	県内トップスポーツチーム連携誘客推進事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度		作 組 織	誘客戦略課
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	主事 池田 章紘
						者 電話番号	076 - 225 - 1544 内線 3953

<事業の背景及び目的>
 2021年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、スポーツへの関心が高まる中、本県において地域密着型のチームづくりを目指して活動している県内のプロスポーツ3チーム及びアマチュアスポーツチーム1チームと連携し、三大都市圏等において観光PRを実施する。

- <事業の概要>
- (1) 事業内容
- ・三大都市圏等でのアウェイゲームにおいて、県内のプロスポーツチーム3チーム及びアマチュアスポーツチーム1チームが行う観光PRへの支援を実施
- (2) 連携先
- (県内プロスポーツ3チーム)
- ・ツエーゲン金沢(サッカー) : 法人名 株石川ツエーゲン(H22設立)
 - ・石川ミリオンスタース(野球) : 法人名 石川ミリオンスタース(H18設立)
 - ・金沢武士団(バスケットボール) : 法人名 北陸スポーツ振興協議会(株)(H27設立)
- (県内のアマチュアスポーツ1チーム)
- ・ヴァンセドール白山(フットサル) : 法人名 (一社)FSVスポーツアカデミー(H28設立)
- (3) PR方法
- ・石川の観光地やチームを応援する内容を記載した横断幕の掲出
 - ・観光PRブースの設置(チームスタッフによる観光パンフレットの配布等) など

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	
課題	石川ならではの魅力の発信						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252		
事業費							
	(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業費	予算	4,080	4,000	4,000	2,500	1,000	
	決算	4,079	3,983	3,745	0		
一般	予算	2,040	2,000	2,000	1,250	500	
	決算	2,040	1,992	1,873	0		
事業費累計		4,079	8,062	11,807	11,807	12,807	
評価							
	項目	評価	左記の評価の理由				
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 誘客プロモーション事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	誘客戦略課
成	職・氏名	主事 越村 日咲	
者	電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3944	

<事業の背景及び目的>

ひやくまんさんを活用し、三大都市圏や東北地域等の重点誘客エリアにおいてプロモーション活動を行うとともに、ひやくまんさんが県内観光地を紹介する観光PR動画の制作・配信や、ひやくまんさんがインフルエンサーとともに県内を紹介するSNSを活用したPRを新たに実施することで、全国に向けて石川の魅力を広く発信する。

<事業の概要>

- (1) 観光PRイベント等への出演
 - ・県内外のイベント等に出演してプロモーション活動を実施

- (2) ひやくまんさんを活用したPR動画の制作・配信
 - ・ひやくまんさんが県内観光地を紹介するPR動画「ひやくまんさん県内探訪記(仮)」を制作。大手動画配信サイトやSNS等を活用し、石川県の魅力を広く発信する。

- (3) インフルエンサーとひやくまんさんによる観光PR
 - ・ひやくまんさんがインフルエンサーと県内観光をめぐる写真や動画を撮影し、インフルエンサーが自身のInstagramアカウントで発信。

- (4) ノベルティグッズによるPR
 - ・「ひやくまんさん」のノベルティを作成し、県内外での観光PRに活用

- (5) 維持管理
 - ・「ひやくまんさん」の修繕等

施策・課題の状況

施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価				
課題	石川ならではの魅力の発信					
	指標	観光入り込み客数	単位 千人			
	目標値	現状値				
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	

事業費						
(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業費 予算	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
事業費 決算	15,000	15,000	15,000	4,100		
一般 予算	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
財源 決算	15,000	15,000	15,000	4,100		
事業費累計	15,000	30,000	45,000	49,100	64,100	

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	JR連携誘客キャンペーン事業費	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	誘客戦略課			
	職・氏名	専門員 佐々木 英雄			
	電話番号	076 - 225 - 1671 内線 3945			

<事業の背景及び目的>
 東京オリンピック・パラリンピック、北陸新幹線敦賀延伸及び延伸にあわせた北陸デスティネーションキャンペーン(北陸DC)など、北陸にとって節目となるトピックスが続くことから、開業7年目以降も、開業効果の持続・発展を図っていくため、北陸三県、JR及び北陸経済連合会が連携し、年間を通じたキャンペーンを継続的に実施し、観光誘客の促進を図る。

- <事業の概要>**
- (1) キャンペーン全体スケジュール
 令和3年 4月～令和3年11月 「日本の美は、北陸にあり。」キャンペーン
 令和3年12月～令和4年3月 ジャパニーズビューティ北陸キャンペーン
- (2) 事業内容
- ・季節毎のポスターやガイドブック等によるPR
 - ・YouTubeなどSNSをはじめとしたWEBメディアを多角的に活用した情報発信
 - ・首都圏での冬の食のPR、マスコミ訪問
 - ・成約特典費付与による旅行商品化支援、店頭販促キャンペーン
 - ・ホームページでの北陸エリアの魅力発信

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価
課題	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進					
指標	観光入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
	令和7年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	30,000	24,753	24,915	24,899	13,252	

事業費						
(単位:千円)		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	予算	11,500	11,500	11,500	11,500	11,500
	決算	11,500	11,500	11,500	11,500	11,500
一般	予算	5,750	5,750	5,750	5,750	5,750
	決算	5,750	5,750	5,750	5,750	5,750
事業費累計		11,500	23,000	34,500	46,000	57,500

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		